



至誠の泉

甲斐市立双葉中学校
学校だより
発行 校長 加藤 忍

令和8年度 6月号
2026.6.1 先勝

○「Beyond the History」は、「Beyond the yourself !」 幸せな時間をおおきに…

修学旅行は、**幸せな時間=自分を好きになる時間**になったのでしょうか。3年生の笑顔が溢れていました。ふだんはマスクをしている女子からも、旅行中「マスクの下の笑顔」をたくさん見ることができました。今でも、2日目朝の宿舎玄関での皆さんの明るい表情と期待感、宿舎到着時の自信や満足感は忘れられません。

行きのバスで、車窓から見えた新緑の緑に対して「わあー、きれい」と、美しいものを美しいと感じる女子がいました。新幹線の速さに圧倒された男子がいました。奈良公園で鹿を見て「これは神様のお使いなんだよね」とつぶやいた男子がいました。「ボーイズ ビー バンビシャス」でした。京都タクシーの運転手さんから「教える立場の私が、逆に教わるが多かった」と言わしめた女子グループがいました。3日目の朝食場面で、前日の反省を生かさそうと集団の修正力がありました。意識高く、心が変われば行動が変わる。運命が変わる、と学びの機会でした。「打てば響く」最上級生であったと思っています。すべて良い思い出、これだから中学生時代には修学旅行が必要だと確認できました。奈良宿舎「わかさ(和鹿彩)」でいただいた、あのポストカード(鹿の笑顔)は宝物です。このあと旅行記づくりも思い出に浸りながら楽しい時間になりますね。

「清水の舞台」(写真)を紹介します。400年前につくられました。高さ13m。釘使用はありません。継手・仕口の木組みで、木材のしなやかさを活かしています。素材の特長を生かすこと=個性を生かすことが、3年生の生き方にもつながれば、なんて私は想像しました。また「清水の舞台から飛び降りるつもり」という言葉があります。願掛けの1つで「一世一代の決断」の時に使う決意表現です。3年生はいつかどこかでそんなときが来るかと…それ以来♪『君に捧げる応援歌』が私の頭をリフレインしています。



「立ち上がろうとする君に捧ぐ～君への応援歌、全力注ぐ～足りないものは一緒にさがそう～希望を胸に扉開いていこう」

○って！！2年生も、宿泊をやりとげたずら。よくやったじゃん。がんばったっつこん…

今回の2年生のテーマは「継ぐ」でした。そのテーマに掛けて、私は4つの漢字を贈りました。「繋ぐ(つなぐ)」「係ぐ(つなぐ)」「絆ぐ(つなぐ)」「継ぐ(つなぐ)」。これは当て字ではなく、実際に存在する語句です。すると、4つの漢字にはすべて『糸』が入っているではありませんか。それを出發の朝発見して、あの出發式の挨拶になったわけです。「**縦の糸はあなた自身。横の糸は友達または先生。織りなす布は、いつか誰かをあたためうるかもしれない～人は仕合わせ(幸せ)と呼びます**」と。2日間は、2年生の「プライド」を感じた行事となりました。解団式で語った、私の思い出ベストスリーを紹介します。

第3位…忍野八海。湧水池「透明度」(写真)は2年生の心の表れ、と感じたのは私だけだったのでしょうか。いつまでも澄んだ(清んだ)心を持ち続ける集団であってほしいです。

第2位…2日目の昼すぎは雷と大雨になりました。現地で、風穴に入るかどうか職員は迷いました。しかし2年生は、バス内で全員がカッパを着用することができており(忘れ物なく)、用意周到でした。人は、集団は、予定外のことが起きたときこそ真価が問われます。行動力に**進化(真価)**を感じました。**第1位**は…生徒が前に出ている係会議、学年集会場面です。

2日目朝の食事時に実行委員長による呼びかけがありました。原稿なしで、生徒が「生の言葉」で語っていたことがとても印象深かったです。行事中、様々な係集会でもそんなシーンがたくさん見られました。集団がワインのように「**熟成**」し、さらに成長することを願っています。



(ワーカー ↓)



○1年生も、校外学習(日帰り)に行きました



テーマは「**飛躍の青～大きく成長しよう～**」体験内容は、クラインガルデンでほうとう作り、八ヶ岳農業実践大学校で、チーズ作り、ジャム作り、炭焼き、木工作り、林業、森づくりでした。具体的な**学年のミッション**は、①顔を上げて話を聴く、②時間厳守+メリハリ、③協力行動○、自分勝手×、④先手あいさつ、を目標にしました。講師の方々を感動させた「校歌斉唱」は、**1年生の宝**になりましたね。入学して1ヶ月、行事を通して、個の力と集団の力を育てています。

部活動の記録 (5月16日～5月31日) これからも「最高の景色」をみたい

- 野球 県選抜大会 1回戦 勝利 9-0 城南・甲府南合同チーム
2回戦 勝利 11-4 高根・泉・武川合同チーム
準決勝 敗退 1-4 富士学苑 **県3位 (県総体シード権獲得)**
※双葉中野球の選抜大会最高成績です。応援されるチームにふさわしい行動と試合ぶりでした。
中学から始めた選手が多いなか快挙。お世辞でなく双葉野球は一度観たら必ずファンになります。
- バスケ女子 県選手権本戦 1回戦 22-66 長坂中
※敗れましたが成長を感じるプレーがありました。組織的な戦術を練習していると感じました。
ベンチ生徒の出番増え、笑顔のハイタッチが印象的。さらに「積極的なシュート」に期待します。
- サッカー 県選手権 1回戦 1-1 (PK戦2-4) 甲府東中に惜敗
※GKとDF中心によく耐え粘り強く守りました。終了間際の得点には歓喜しました。PK戦は仕方ありません。前半失点直後の顧問の先生の「下を向いちやダメだ」鼓舞は、私の心に刺さりました。
- 硬式テニス 県選手権大会 男子シングルスに3名が出場しました。
第2位…Yさん、決勝はファイナル惜敗でしたが立派な成績。ベスト8進出…Nさん
- ソフトテニス 甲斐市長杯 (個人戦) ※市内中学生48～52ペアが参加する準公式戦でした。
【男子】 第3位…Y・O組 ベスト8…K・Y組
【女子】 第1位…K・O組 **第2位**…N・N組 **第3位**…O・H組 ベスト8…O・G組

PS 5月29日 (金) 壮行会は、心のコもった素晴らしい会でした。応援団、在校生、みんなありがとう！

○防犯講話開催 ～ S (信念のある) N (人間が) S (責任もって) 、付き合いたい～

5月26日 (火) 本校体育館で全校集会として実施しました。講師は山梨県警察本部の少年対策官の方で、保護者の方にも数名参加していただきました。内容は、インターネット、スマホ、SNS等の使用に潜む危険性を、具体例を交え学ぶ機会となりました。今の中高生には必須の知識と説明でした。

5月山日新聞「こぴっと」で、次の記事が私の目に留まりました。SNSと関連するので紹介します。
『三権分立とは、権力を3つに分け、お互いにチェックしあうというしくみです。日本で言うと、立法 (国会)、行政 (内閣)、司法 (裁判所) です。その後、第4の権力として、マスメディアの存在が注目されました。近年はSNS (交流サイト) の普及から、AI (人工知能) が第5の権力といわれるようになってきました。AIとどうつきあっていくかは、これからの時代の大切なポイントです。この強大な権力に、私たち人間が支配されない術はあるのでしょうか？ その方法の1つは、やはり学びの基本である「考える」ことです。流されることなく自分の頭で考えてみることで、絶え間なく押し寄せる情報の波から少し離れて「冷静な判断」ができるようになります』 (引用 5月7日こぴっと 中央市ふくとみ小児科医福富崇浩さんの文章)

○映画「ビリギャル」の話 (3年1組と3年2組の生徒は高速道路で走行中に観ましたね)

修学旅行の帰りのバスでこのDVDを視聴しました。久しぶりでした。これは実話で、2013年の本出版、2015年の映画でした。なんか懐かしく、勇気をもらいました。当時は立かかなかったのですが、あらためて今観ると泣けます。作品で登場した塾講師の坪田信貴さんの言葉を3つ紹介します。



「意志あるところに道はひらける」 (←これ特に有名です)

(Where there is a will, there is a way)

「言っているうちに (言葉にしているうちに)、願いは向こうから近づいてくる」

「子どもにとって受験より大事なものは、絶対無理って思えることをやり遂げたっていう経験なんです」

実は、私はビリママ (橘こころさん) に会ったことがあります。2015年「ダメ親と呼ばれても、学年ビリの3人の子を信じてどん底家族を再生させた母の話」という本を出版、2018年に私が教頭で勤務していた学校の講演会で、お母さんを招くことができました。送迎移動の車中で、たくさん話をさせてもらいました。当時のメモ帳を引っ張り出しました。そのお母さんの言葉を3つ紹介します。

「子育ては、自分育て」「心があれば、あとは勝手についてくる」「応援すると、過保護お違う」

